## ∂編集後記∂

## 19生

- >みなさんお疲れ様でした。今回何一つ活躍してない気が致しますが、中村編集長をはじめ、他の編集員のみなさんがすごく頼りになりました。ありがとうございました!オムニバス形式授業について取り上げたりと、今号も新しいことに挑戦できたと思います。来号にもあまり参加できないとは思いますが、私で良ければできるだけサポートさせて頂きます。本当にお疲れ様でした。(久保奈津美)
- > 2 年間飛翔の編集に携わり、「総科とは何か」 じっくり考えることができました。一番印象に残ったのは、取材させて頂いた先生・OB・OGの方々が、総科の魅力をいきいきと熱く語って下さったこと。現役総科生も、自分の学部に誇りを持っていいと思います。飛翔を読んだ人が、総科をもっと好きになってくれていたら嬉しいです。(桑田雅美)
- > 今号も引き続き編集長を務めさせていただきました。今号は前号に比べ、編集員がかなり少ない状態でスタートしました。しかし今号の飛翔編集員は精鋭揃いのようで、無事飛翔75号を発刊できたことを誇りに思います。今回は私も取材に行ったり、記事を書いたり、レイアウトをしたりと随分と楽しめました。最後に、ついてきてくれた編集員のみんな、支えていただいた事務員の方々、先生方、取材に協力していただいた方々、それから飛翔を手に取り、読んでくださった皆様に感謝です。(中村洋平)

## 20生

- >前号に引き続き、研究室紹介を担当しました。今号では、他の企画にも参加したかったのですが、あまり協力出来ませんでした。次号はもっと積極的に参加していこうと思います。(世良真一郎)
- >今回も懲りずに締め切り当日提出です。前回から始まった掲示板企画、うまく引き継げたかはわかりませんが、次回も引き継いでくれれば嬉しいなと思います。(平野俊樹)
- > 今号の飛翔ではインタビューや原稿作成などいろいろとやらせてもらいました。おかげ様でなかなか充実した日々を送ることができました。来号からは今の19さんの立場でやっていくんだなぁと思うと少し気が重いのですが、面白い飛翔を作ってやるぜという気合いもあります。今回先輩方にはいろいろと迷惑をおかけしました。すいませんでした。(山崎弦太)
- >総合科学部に入学して1年が経ちました。同時に、編集委員としての経験もちょうど1年が過ぎたことになります。前期に比べて成長できたかどうか……自信はないのですが(笑)、編集委員をやっていて本当によかったな、これからも続けていきたいなと、心から感じています。それから、目立たなかったかもしれませんけど、山谷義貴は一応今号の副編集長だったんです。にもかかわらず、役に立てたと思うことより、迷惑をかけたと思うことの方が多いという……。いけませんね。こんな僕ですが、これからもよろしくお願いします。(山谷義貴)
- >ニホンゴって難しいです。書き方が下手なので編集長にものすごい量の校正をさせてしまって申し訳なかったです。マンガばっかり読んでいるからですね。今回は地域と大学講座の企画長をしました。色々なところに取材に行ったのでかなり大変でした。取材で僕が感じたことを読者と少しでも共有できたらいいなと思っています。助けていただいた皆さんに感謝!(吉田聡)

## 教員・事務の方々

- >これまでは学生諸君の活躍をただ傍観?しているに過ぎなかった小生ですが、今回は思いがけず自身が取材 対象となり、インタビューの経験など殆どないので大層慌てました。終わってみると、支離滅裂な話ばかり で言いたいことの半分も言えなかったような気がして、真意が伝わったかどうか不安でしたが、上がってき た原稿は大変よくまとまっており、関係各位の筆力、構成力に感服した次第です。どうもお疲れ様でした。 (石田敦彦)
- >編集に関わった皆さん、タイトなスケジュールのなか、お疲れ様でした。下見学生街の記事は広大歴の浅い 僕にとってはとても新鮮で、また、オムニバス授業の記事は教員としてドキリ!(むろん良い意味で、です よ…笑)とさせられる部分もありました。このような、読み手に刺激を与えることのできる企画が次号も続 くことを期待しています。(佐々木宏)
- > 今号も全企画大変興味深く夢中で読みました。毎号の発行を本当に楽しみにしています。 短期間で編集され編集委員の皆さんの頑張りはすばらしいと思います。(岩佐浩子)
- >今回の記事を読んで、広島大学の歴史やそれに関わった町の人達の苦労を知り、一読者としてとても勉強になりました。これからも素晴らしい企画が出てくることを期待しています。本当にお疲れ様でした。 (宮内祐輔)

